

令和2年 常陸大宮市消防出初式が開催されました！

1月12日、令和2年消防出初式が開催されました。今年は、昨年の令和元年台風第19号により、おのみや消防広場（辰ノ口）が深刻な被害を受けたため、西部総合公園体育館で行われました。消防団員380人および消防職員38人のほか、来賓など101人が参加しました。



▲整然と並ぶ消防団員及び消防吏員



▲消防団旗を掲げる



▲祝辞を述べる三次市長



▲壇上で挨拶をする岡山消防団長



▲わが町の消防団ポスターコンクールの表彰も行われました



▲入賞した小学生の皆さん



電化製品による電気火災に注意しましょう

電気火災は家にある身近なものから起こる火災の一つです。東京消防庁の調べによると、家電製品等による火災原因トップ3のうち2つが差し込みプラグやコンセントといった配線器具による火災原因として占めています。

トラッキング現象

配線器具による火災原因のうち最も多い原因としては、トラッキング現象によるものです。トラッキング現象とは、長い間差しっぱなしになったコンセントにホコリがたまり、そこに加湿などにより発生した湿気が加わることで、電気プラグの刃の間で火花放電が繰り返されることです。

これによりコンセントに接する絶縁部を加熱し、電源プラグの刃と刃の間に“トラック”と呼ばれる電気の道を作ります。そこから放電を起こし発火する現象です。



ホコリはなぜ溜まる!?

コンセント周りにホコリが溜まるのはなぜと疑問を持ったことはありませんか？ふだん掃除機で掃除をしていると、大型家電の後ろなどをおろそかにしてしまい、コンセントを長期間掃除していないことで、他の部分より溜まっていると考えがちです。実は、それだけではありません。電気コードの周りに発生している「電磁波」や「静電気」によりホコリを誘引していることが原因として考えられます。

トラッキングを防ぐ対策法

- ・プラグやコンセントにトラック（焼き跡）がないか確認する。
- ・使っていない電気器具のプラグはコンセントから抜く。
- ・タンスの裏側など目の届きにくい場所のコンセントは極力使わない。
- ・たこ足配線はやめる。



電気器具を使用していなくても、プラグが差してあるだけで電気は流れ、コードが重なっていると熱が発生することがあります。こまめにコンセント周りを確認し、トラッキング火災を防止しましょう。

